

災害ボランティアに参加される皆様へ

災害ボランティアにおける感染症予防について

雲南市災害救援ボランティアセンターでは、新型コロナウイルス感染防止に配慮した運営を心がけております。依頼された方とボランティアの皆様が安心して活動が進められるよう、以下の事項へのご協力をお願いいたします。

参加にあたっての準備

- ・体調管理に注意し、活動日を迎えられるよう気をつけましょう。
- ・各自でマスク（不織布製）、手袋はあらかじめご用意ください。

＜ボランティア活動に参加できない条件＞

- （例）・本人に発熱（37.5℃以上）、頭痛、のどの痛み、味覚・嗅覚障害がある場合
- ・家族や同居人に上記の症状がみられる場合
 - ・マスク着用など、自身で感染予防対策ができない場合
 - ・重症化のリスクが高い基礎疾患のある方や健康に不安のある方

※以上の項目にひとつでも該当する場合は、ボランティア活動へご参加いただけません。

ボランティア活動場所までの移動

- ・自家用車で来られた方には、ご自身の車で活動場所まで移動していただきます。ただし、現地で駐車スペースが不足する、確保できないなど事情がある際は、ボランティア同士での乗り合いや、センターの車両による送迎を行います。乗り合う際は乗車定員の半分以下とし、窓を開放するなど、密とならないようご配慮ください。
- ・乗り合いに使用した自家用車は、帰着後消毒を行います。

活動にあたっての注意事項（感染・熱中症対策の徹底）

○熱中症対策のため、適宜マスクを外しましょう

- ・熱中症対策のため、屋外などで周囲の人と十分な距離が取れ、マスクを外せる場合には、適宜マスクを外しましょう。ただし、大声を出す必要があるときにはマスクの着用が望ましいです。
- ・のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をするなど、熱中症には十分に気を付けましょう。
- ・屋内での活動では、マスクや手袋を着用のうえ、十分な換気を行う。

○人と人との距離をできるだけとりましょう

- ・休憩時間には他のボランティアの方や依頼者との距離を空けるなど、人と人との距離をできるだけとりましょう。(1.5～2 m)をとって活動する。
- ・活動時に必要なコミュニケーションはとりつつも、近距離での会話は行わない。

○こまめに手を洗いましょう

- ・食事の前やトイレの後、作業後や屋内への出入の際など、こまめに手を洗いましょう。水が出ない場合は消毒液を使用しましょう。
- ・不必要に物に触れないよう注意する。

○体調管理をしっかり行い、症状が出た場合は作業を控えましょう

- ・基本的に毎日検温しましょう。
- ・被災地で作業された日時等を記録しておき、発熱等の症状が出た場合は、最寄りの保健所にご相談ください。
- ・気分が悪い、体調が優れない場合は、決して無理せず、リーダーに報告し、休憩する。

感染防止対策

- ・受付時に検温を行います。
- ・資機材等は活動終了後、必ず消毒する。
- ・使用済みのマスクや手袋等は、ビニール袋に入れ、廃棄する。
- ・運営スタッフはマスクを着用し、こまめな手洗いや手指消毒を実施する。
- ・ボランティアセンター入口等へ手指消毒液を設置し、ボランティアセンター利用者に対しても手指消毒や手洗いの実施を呼びかける。
- ・受付で密集しないよう2m間隔で待機用の印をつける、待機場所に2m間隔で座席を設置するなど、「3つの密（密集、密接、密閉）」を防ぐ取り組みの実施。
- ・活動日当日に不特定多数のボランティアの方々が来所することを防ぐ、事前登録制の採用。
- ・ドアノブやテーブル、椅子の背もたれなど不特定多数の人が触れる箇所のこまめな消毒。

感染症が発生した場合（疑い含む）

- ・ご自身が、新型コロナウイルスに感染した疑いがあり、検査を受けた場合は、速やかに雲南市災害救援ボランティアセンター（0854-45-9888）へお知らせください。
- ・ご自身や、一緒に活動を行った方が、新型コロナウイルスに感染した場合、センターでは、この情報及び、活動状況を保健所等に情報提供することがあります。